

【日の出入り・月の出入り表】

2023年 1月

提供:国立天文台

日	日の出 時:分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時:分	月の出 時:分	月の入り 時:分	月齢 12:00	備 考
1	7:24	12:24:24	33.8	17:25	13:21	2:00	8.7	元日
2	7:25	12:24:52	33.9	17:25	13:52	3:00	9.7	
3	7:25	12:25:20	34	17:26	14:26	4:01	10.7	
4	7:25	12:25:47	34.1	17:27	15:06	5:01	11.7	
5	7:25	12:26:14	34.2	17:28	15:50	6:00	12.7	
6	7:25	12:26:41	34.3	17:28	16:40	6:55	13.7	小寒※1
7	7:25	12:27:07	34.4	17:29	17:35	7:45	14.7	満月 水星内合※2
8	7:25	12:27:33	34.6	17:30	18:32	8:29	15.7	
9	7:25	12:27:58	34.7	17:31	19:29	9:07	16.7	成人の日
10	7:25	12:28:23	34.8	17:32	20:27	9:40	17.7	
11	7:25	12:28:47	35	17:33	21:24	10:10	18.7	
12	7:25	12:29:11	35.1	17:34	22:20	10:37	19.7	
13	7:25	12:29:34	35.3	17:34	23:17	11:02	20.7	火星留※3
14	7:25	12:29:56	35.5	17:35	--:--	11:28	21.7	
15	7:25	12:30:18	35.7	17:36	0:15	11:55	22.7	下弦
16	7:24	12:30:39	35.8	17:37	1:16	12:24	23.7	
17	7:24	12:30:59	36	17:38	2:20	12:59	24.7	冬土用※4
18	7:24	12:31:19	36.2	17:39	3:29	13:40	25.7	水星留
19	7:24	12:31:38	36.4	17:40	4:40	14:31	26.7	
20	7:23	12:31:56	36.6	17:41	5:51	15:34	27.7	大寒※5
21	7:23	12:32:14	36.9	17:42	6:57	16:45	28.7	
22	7:22	12:32:31	37.1	17:43	7:54	18:02	0.3	新月
23	7:22	12:32:47	37.3	17:44	8:41	19:19	1.3	天王星留
24	7:22	12:33:02	37.6	17:45	9:20	20:32	2.3	水星が東方最大離角※6
25	7:21	12:33:17	37.8	17:46	9:54	21:41	3.3	
26	7:21	12:33:31	38	17:47	10:24	22:47	4.3	
27	7:20	12:33:44	38.3	17:48	10:53	23:50	5.3	
28	7:20	12:33:56	38.6	17:49	11:22	--:--	6.3	
29	7:19	12:34:07	38.8	17:50	11:53	0:53	7.3	上弦
30	7:18	12:34:17	39.1	17:51	12:27	1:54	8.3	水星西方最大離角
31	7:18	12:34:27	39.4	17:52	13:04	2:55	9.3	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 二十四節気の一つ 意味:寒の入りで、寒気が増してくる。

※2 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※3 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」とな

※4 土用:四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

※5 二十四節気の一つ 意味:冷気が極まって、最も寒さがつのる。

※6 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。